

日本オートキャンプ協会様

BE-PALが考える
アウトドア&キャンプ
の近未来とは？

小学館BE-PAL PRESENTS

本日も話すること

- ▶ 1. 自己紹介
- ▶ 2. BE-PALの歴史
- ▶ 3. 創刊以降のアウトドア事情
- ▶ 4. 創刊以降のキャンプ事情
- ▶ 5. ここ数年のアウトドアの変遷
- ▶ 6. ここ数年のキャンプの変遷
- ▶ 7. アウトドアとキャンプの未来は？



1. 自己紹介

- ▶ まずは自己紹介から。

沢木拓也 48歳 愛知県出身

1995年（H7年）小学館入社

ビジネストrend情報誌DIMEに配属。

その後、DIME5年、BE-PAL5年、Telepal エフ2年、
ビッグコミックオリジナル2年、ビッグコミック2年、
DIME4年、BE-PAL5年、計 5 誌の編集を経験しました。

- ▶ 編集者歴は……25年になります。



2. BE-PALの歴史

▶ BE-PALは今年で創刊39年を迎えます。

創刊10年ほどたった90年代半ばに、

空前のキャンプブームが到来しました。

部数が40万部を超えたのもこの時期です！

ライバル誌もOutdoorやFENEKなど続々と創刊されました。

BE-PALでもカタログ別冊や入門ムックなどを次々と発行。

ちょうどバブル期ということもあり、RV車が大人気に。ランクルやパジェロなど、本格4WD車が飛ぶように売れました。



3. 創刊以降のアウトドア変遷

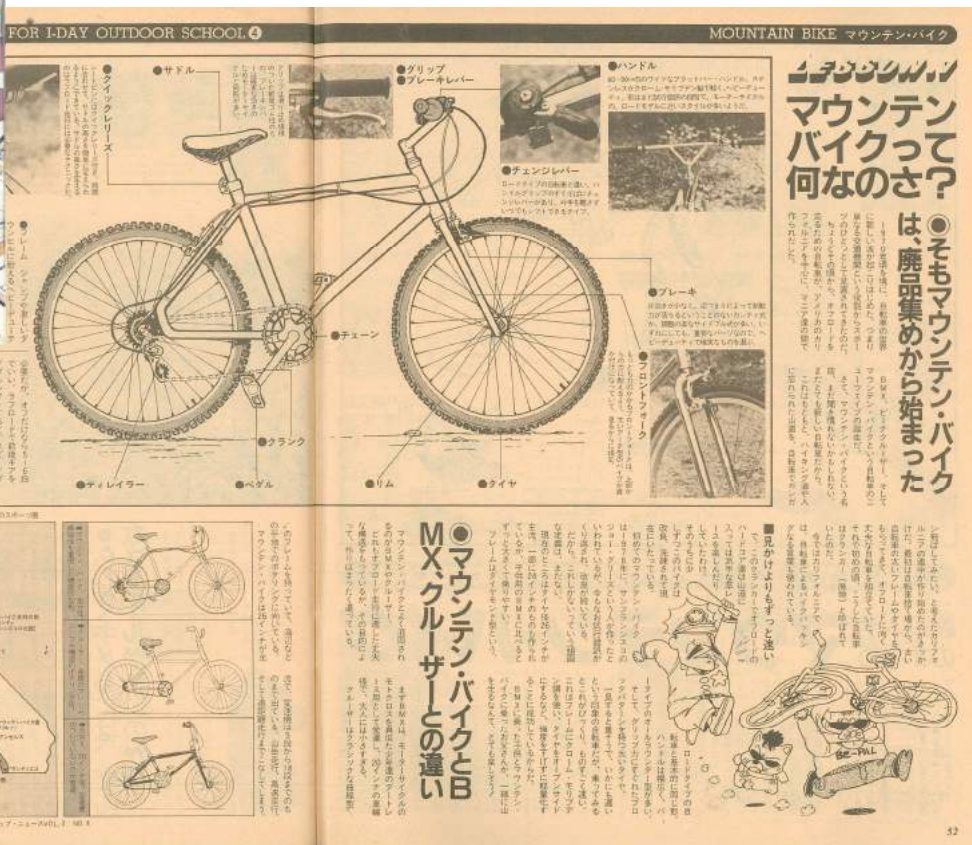


- ▶ 創刊した1981年当時、アウトドアやオートキャンプという言葉もそれほど浸透しておらず、外遊びのメインは登山や釣りで、ライトな野遊びイメージは薄かったようです。一部、情報感度の高い人が、アメリカで流行しているアウトドアウェアやキャンプギアを輸入する形で広めていました。
- ▶ BE-PALでは創刊当時からライトなアウトドア&ネイチャー系のトピックスを取り上げ、モデルも外国人を多用していました。そんな中、クルマ特集は定期的に組み、RVというネーミングもいち早くタイトルに付けていました。

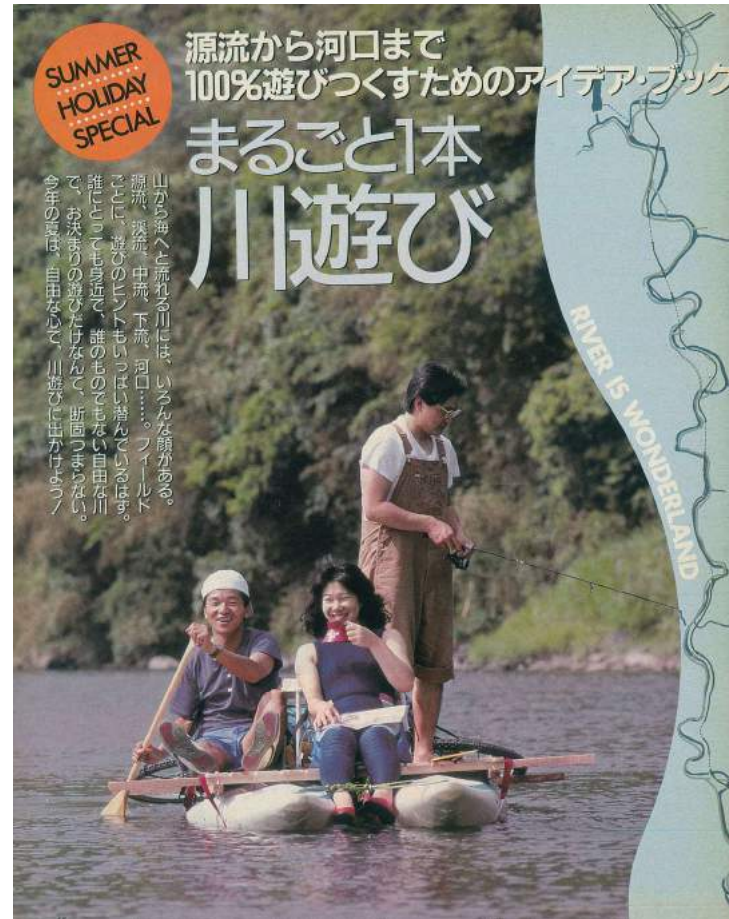


MTBやカヌーといった遊びが徐々に拡大

創刊翌年にはMTBの特集を組み始めました。
本場であるアメリカ西海岸取材も敢行。



'80~'90年代、アウトドア遊びの選択肢が広がる



野田知佑さんやシエルパ 斎藤さんはこの当時から ずっと活躍。川の楽しさ や歩き旅の楽しさを発信。

4. 創刊以降のキャンプ変遷

▶ オートキャンプの黎明期

- ▶ 創刊した1981年当時、まだまだキャンプは一部の趣味人がやるもので、登山の延長や林間学校のイメージが強かった。
- ▶ アメリカでは一般的だったオートキャンプが、ようやく日本にも入り始めた時期。自家用車の所有が一般的になり、ファミリーレジャーとしてのキャンプがようやく日本でも増えてきました。その背景には土日休みが一般化した影響もあります。

先日なくなられたカントリーライフの第一人者、田淵義男さんがキャンプをコーディネート。今でも見習いたくなるおしゃれ感がありました。

10



80年代半ばからキャンプギアが急速に進化



テントにシュラフ、
テーブルにチェアなど、
アウトドア道具が各社
から続々発売される。

NOW TO CAMPING 月号 4月号
リラックス アウトドア 快眠

快適道具で楽しむ RVキャンピング術

「主手は快適なテント選びに集中する」

快眠+カタ+ローグ

SPALDING

快眠

アウトドアだからこそ 食事はおいにキラル

快食+カタ+ローグ

SPALDING

この当時のテントはロッジ型とドーム型が勢力を争っていた。テーブルにはクロスを敷き、クーラーボックスに2バーナーが必須アイテムに。

山岳用ソロからファミリーテントまで百花繚乱

OUTDOOR SLEEPING GOODS CATALOG

1人用テント

121

OUTDOOR SLEEPING GOODS CATALOG

YAMACHO ORIGINAL BEST GOODS

オールマンサント目 専用特

日本全国ヒット品続々

122

OUTDOOR SLEEPING GOODS CATALOG

2人用テント

Oニュートップ T6790テラックスドーム ¥32,000

O.L.L.ビーン 5554 2バーソントレイルテント ¥55,000

Oモズノ/101E-511 ¥36,000

Oトビヤンカー 101E-511 ¥36,000

Oタクッス MS-10セイスパーゴング ¥29,000

Oモンベル ムーンライト ¥36,000

Oコールドマン/ピークワンテント ¥36,000

Oモンテ (タカクラ) エントラントテント ¥44,000

O太極テント フィッシングポップ ¥24,000

Oオールドマン/ピークワンテント ¥36,000

Oトビヤンカー 101E-511 ¥36,000

Oダンロップ CTC-8211アーシーカラテント (2人用) ¥46,000

本格OD派のためのエキップメント

EXP OF JAPAN

127

128

創刊当初から10年くらいはなぜかやたらと水着の女性がモデルに。今年40年ぶりにモデルチェンジしたモンベルのムーンライトも。キャラバンやLLビーンの特典も。

BE-PALではネイチャー系の記事に力を入れる



クルマやギアの企画だけでなく、昆虫やガサガサ、植物系の記事などが増加。身の回りの自然に目を向けるように。



いざキャンプに行っても子供を楽しませることができない親も多くいた。ビーパルでは、自然の中で何を楽しみ、虫をつかまえ魚を捕るたのしさや、川ガキ、虫ガキがそのまま大人になったような人にスポットを当て記事にすることが多かった。

5. ここ数年のアウトドア事情



▶ 2020年、アウトドア界は4極化の時代に

アウトドアアクティビティのメインターゲットがファミリー一辺倒から変化、ジャンルもより細分化が進んでいる。

BE-PALでいうと、①4～50代の1人で行動する男性 ②グループで活動する3～40代 ③アクティブな20代後半～30代女性が読者やイベント参加者が増加。これに④インバウンドが加わっています。（BE-PALは台湾で人気が高いようです）

さらに、SNSやコミックの影響を受けて、多くの人々が動くように。BE-PALもSNSで付録の楽しさが数多く投稿されると即完売。定価の3～4倍で売買されることもあり苦慮する時も。



アウトドア遊びも従来型 + α と、SNS映えの時代に

従来型のカヌーやテレマークなど、技術や経験などを極めていくアクティビティより、手軽にみんなで楽しめるアウトドアアクティビティやツアー、イベントに人気が集まる。その一方、ネイチャー系や自然観察は少し停滞気味に。SUPやカヌーもツーリングじゃなく、釣りとの組み合わせが人気に。キャンプ道具を自作するDIYなど、SNS拡散力があるものも人気に。



6. ここ数年のキャンプ事情

- ▶ ここ数年、まさに第二次キャンプブームが到来中。BE-PALも去年は前年比123%を達成。
- ▶ 山岳系雑誌やアウトドアファッション誌は前年比90%くらいと低迷している。アウトドア全般というより、グランピングやBBQといったキャンプ系が一般化して延び続けている。
- ▶ 昨年10月号で「“自分で作る”キャンプギア」という特集を組むと、あっという間に完売。単なるキャンプ道具の紹介では飽き足らず、自分で作ったりアレンジしたいという欲求が高まっていようで、その実践者も激増中。



7. アウトドアとキャンプの未来は？

▶ アウトドア&キャンプ人気は継続

昨年4月から、**年次有給休暇の取得義務化**が開始。

さらに働き方改革で残業の大幅削減が各企業で進み、サラリーマンの余暇時間は確実に増えています。週休二日制が導入されたときと同様に、キャンプやハイキングなど、**比較的安価で長く楽しめる趣味**にさらに人気が集まるはずです。

また、キャンプも細分化&多様化し、豪華な「**グランピング**」や平日でも1人で楽しめる「**ソロキャン**」など、より自分に合った形態を追求し続けています。アウトドア業界が元気だというイメージが世の中の中的にも強く、それに伴いアウトドア以外の企業もこの業界に続々と参入し、競争はさらに激化するのではないのでしょうか。



アウトドア界の未来を明るくする5つの方針

▶ ① エントリー層を増やす

テレビ番組やCMでキャンプシーンの演出が増え、SNSで発信するアウトドアユーザーも激増。初心者がチャレンジしやすいきっかけづくりが重要。

▶ ② 独自性をさらに強化

女子キャンイベントや狩猟キャンプなど、ユーザーを絞ったイベントを盛り込む。メディア側も取り上げやすく、参加動機につなげることができる。

▶ ③ リピーターを増やす

ネット社会だからこそ、リアルなつながりが重要に。ユーザーミーティングなどを定期的実施し、SNSはその拡散に有効活用。



最後に

▶ BE-PALの未来

キャンプ人気と地方創成、SDG s の流れetc.。時代の流れは確実に後押ししてくれています！

少し先に何がはやりそうか、今何が注目されているのか、この二つを見極めながら情報発信し続けることが重要。

そして、中学生でもわかる内容でありながら、創刊から読み続けている読者を満足させるよう記事作りを心掛ける。

5年後、10年後にも生き残れるよう、粘り強く頑張ります。
今後ともご指導、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました。